

# B工区地質記載シート

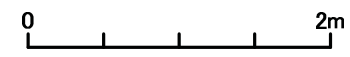
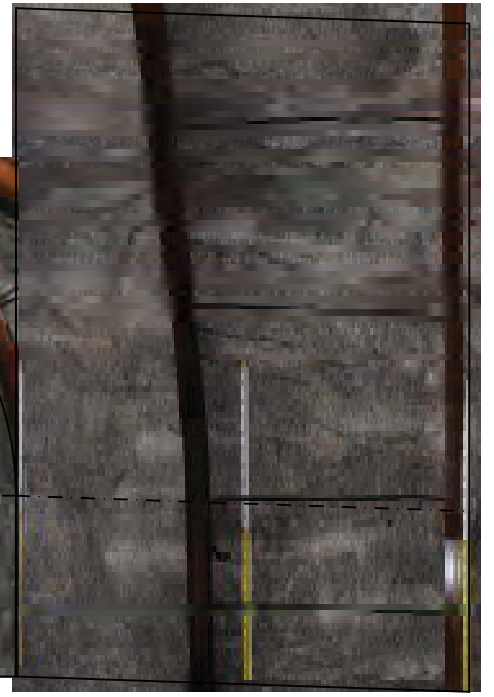
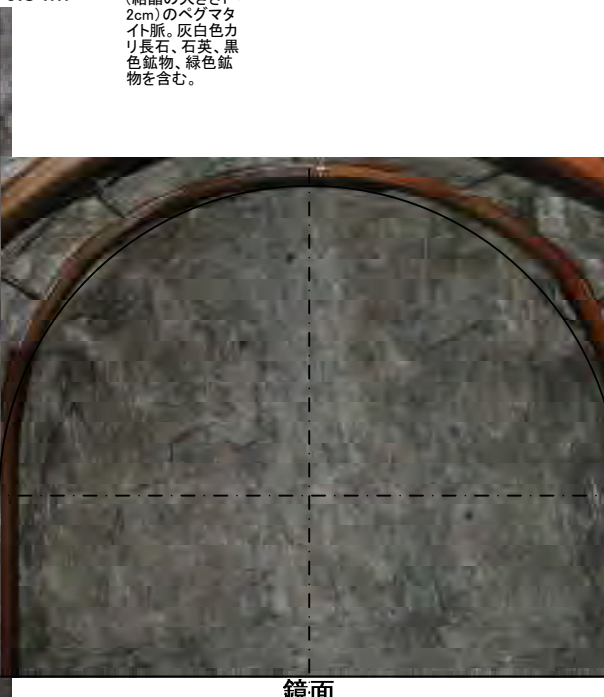
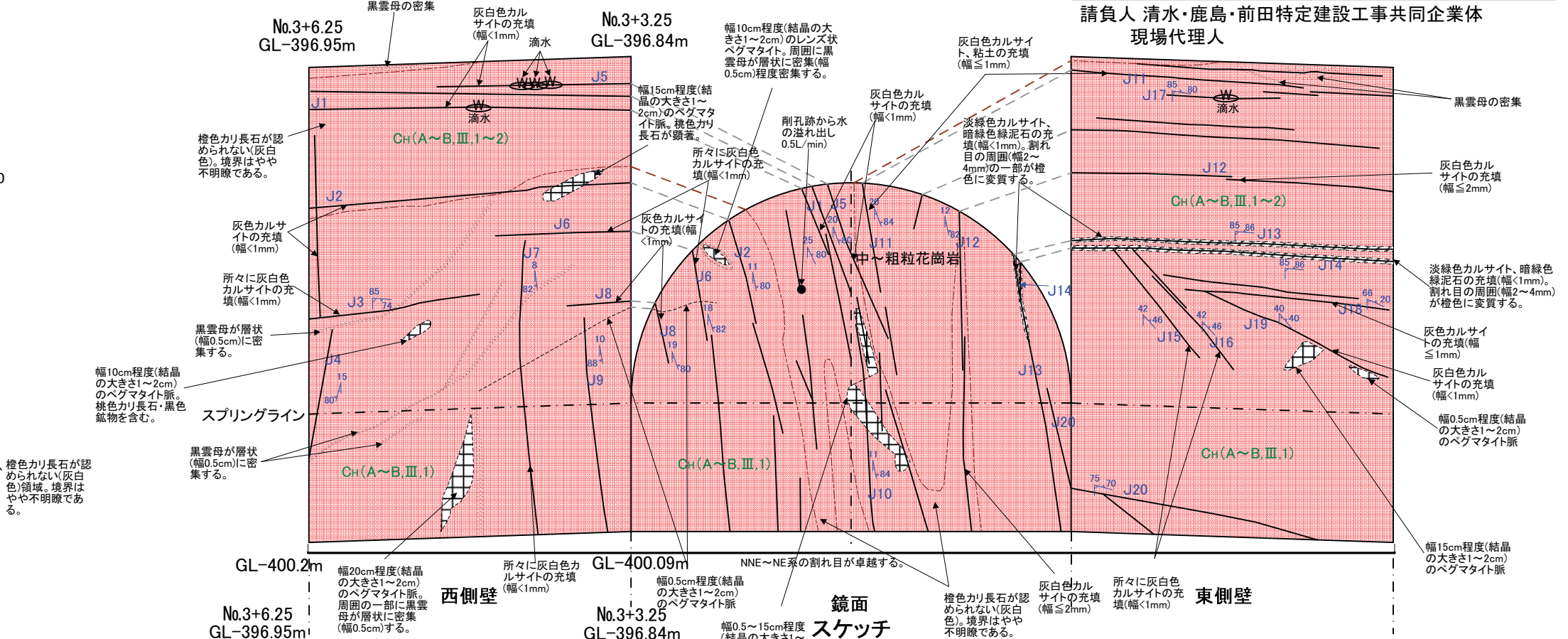
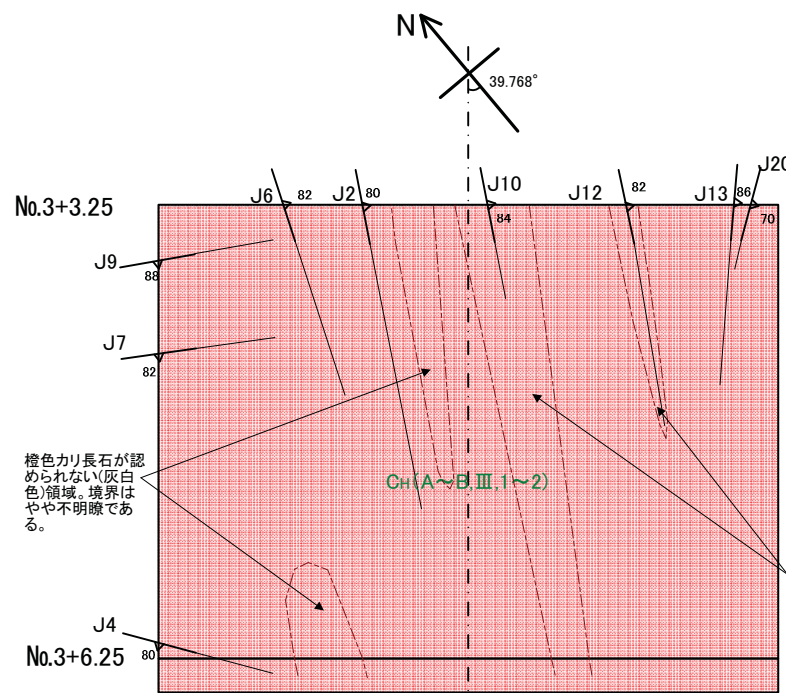
番号:B3-請負-計測工(地質)- 00089

シート番号	207	日時	2009/9/2 5:05~8:10	位置・深度	400Y ST1-2 G.L.-396.84~-400.20m No.3+6.25~No.3+3.25m	観察・撮影者	
-------	-----	----	-----------------------	-------	--	--------	--

- 凡例
- 花崗岩
  - 変質部
  - ベグマタイト脈
  - 割れ目
  - 割れ目の傾斜・計測角
  - 岩相境界
  - 黒雲母密集部
  - 削孔跡
  - 湧水

総括監督員	主任監督員	監督員
-------	-------	-----

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体  
現場代理人



岩種	花崗岩	風化	α (新鮮)	RMR値	-396.84~-400.2m 73
		変質	1(非変質) (一部2(弱変質)を含む)	岩石試料番号	なし
岩相	中~粗粒花崗岩(淡桃色、灰白色)	湧水	滲出 滴水	採水試料番号	なし
		電研式岩級	-396.84~-400.2m C <sub>H</sub> (A~B,III,1~2)		

**特記事項**

- 中~粗粒花崗岩(淡桃~灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。西側壁、鏡面、東側壁にはベグマタイト脈(幅0.5~1.5cm)が認められる。ベグマタイト脈の周囲の所々に黒雲母が層状(幅0.5cm)に密集する。西側壁、東側壁天端部には黒雲母がベグマタイトとは伴わずに密集(幅0.5cm)する。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質は一部の割れ目周囲(J13、J14)に限られ、壁面全体では岩石は概ね新鮮である。岩盤等級は、すべての壁面で割れ目間隔が20~60cmのためOH級である。
- 主な割れ目として20条を抽出した。全体にNNE~NE系の高角度割れ目が卓越する。割れ目の狭い物は主にカルサイトであり、一部に緑泥石(J13、J14)、粘土(J11)を挟む部分も認められる。
- 西側壁・鏡面・東側壁天端部には、桃色カリ長石が認められない領域があり、その領域内の割れ目目合いは橙色変質を伴っていない(J1、J5、J10等)。
- 湧水は、J1、J5、J17で滴水がみられる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。また、鏡面の削孔跡より水の溢れ出し(0.5L/min)が認められる。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から3.0m離れた場所より目視観察で実施した。

# B工区地質記載シート

番号:B3-請負-計測工(地質)- 00090

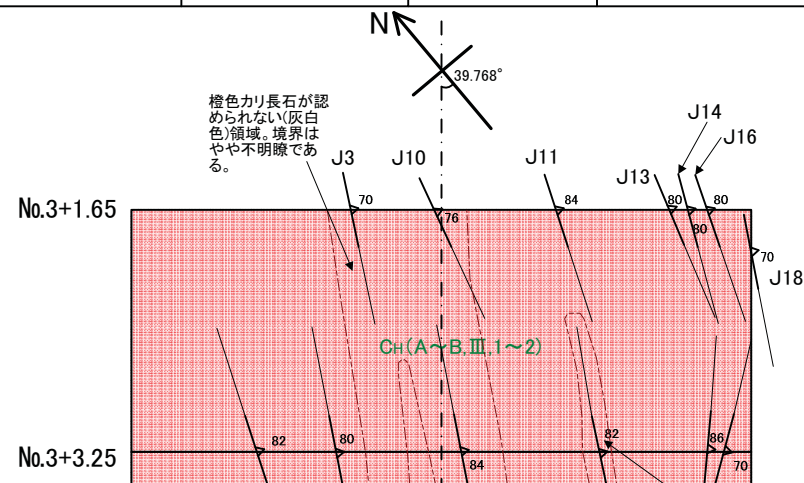
シート番号	208	日時	2009/9/5 19:05~20:20	位置・深度	400Y_ST3 G.L.-396.79~-400.09m No.3+3.25~No.3+1.65m	観察・撮影者	
-------	-----	----	-------------------------	-------	--	--------	--

凡例

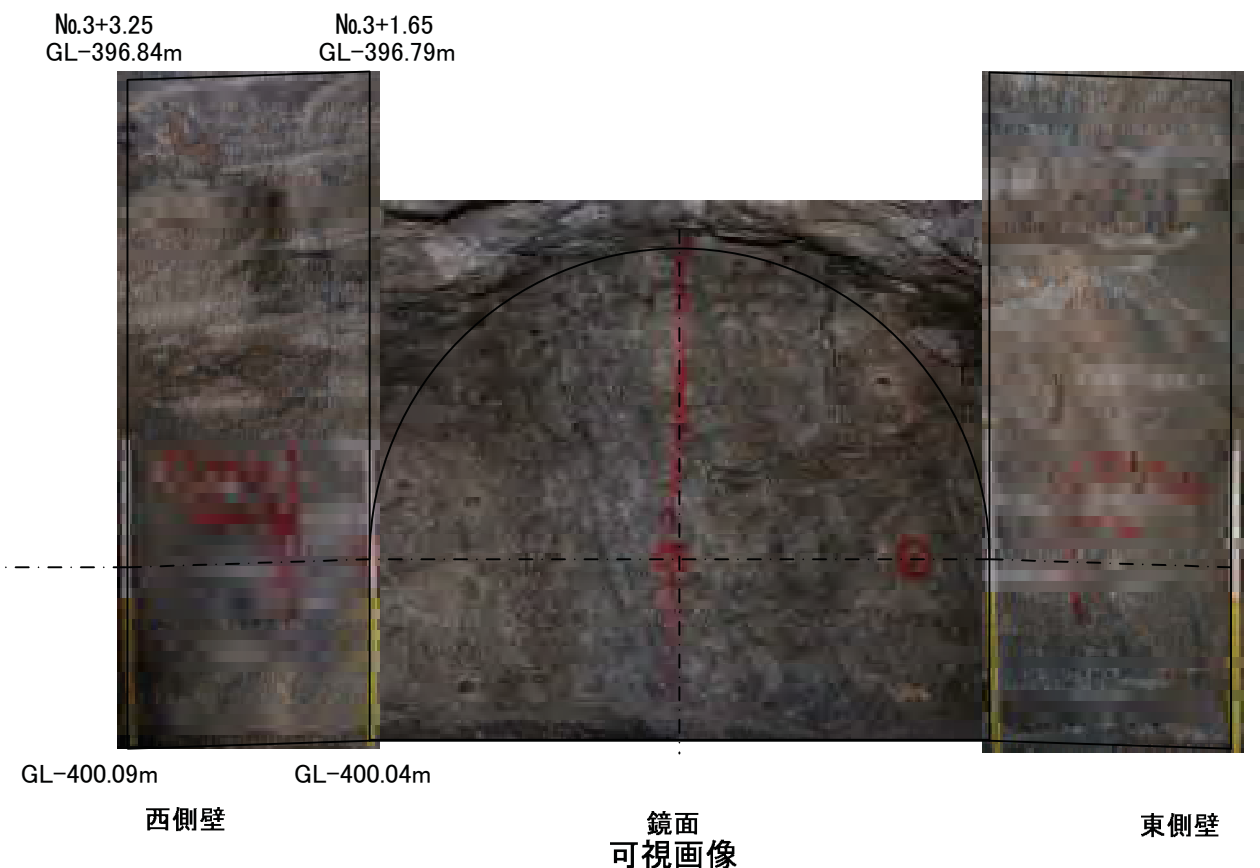
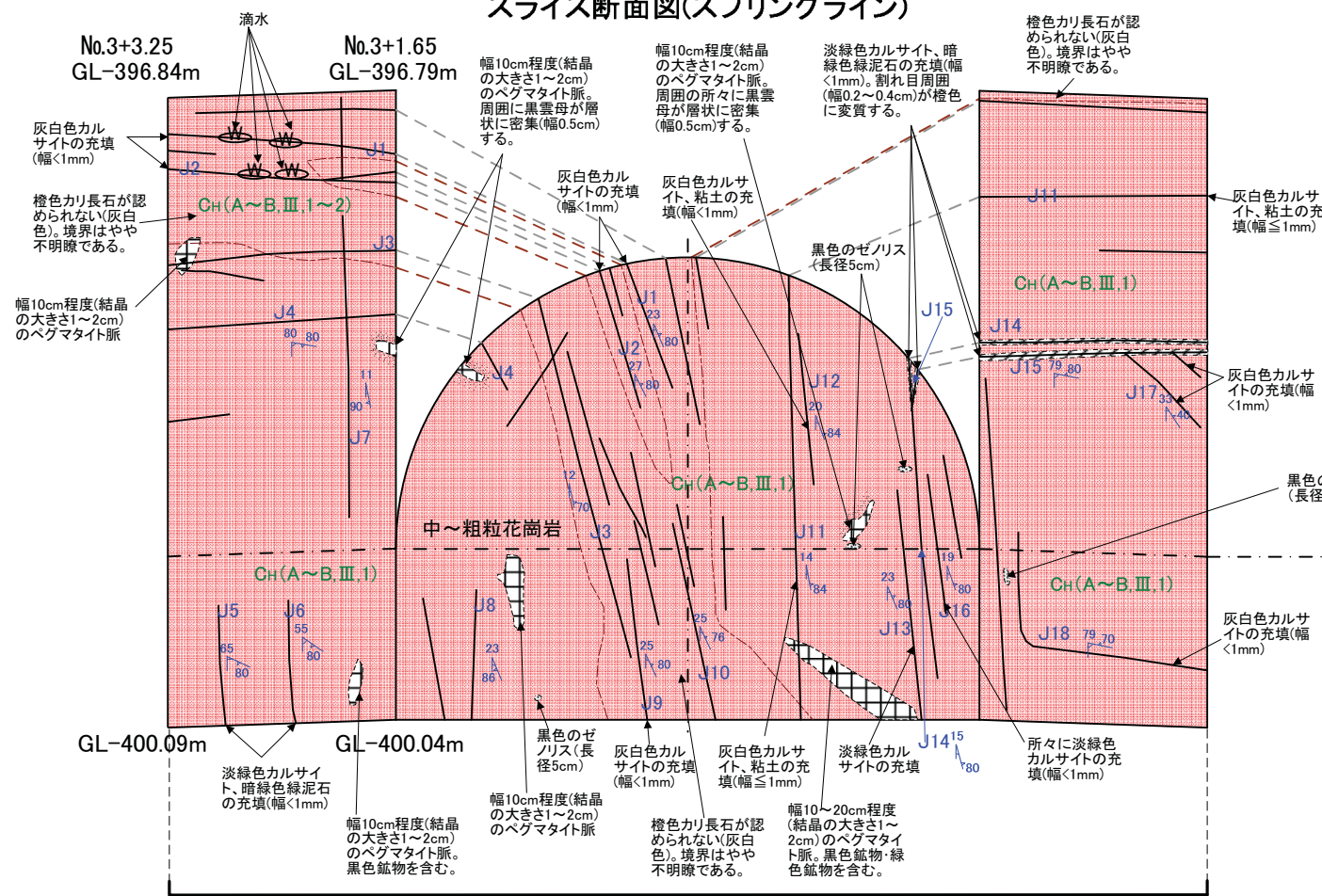
: 花崗岩	: 変質部	: ゼノリス
: 割れ目	: 割れ目の傾斜・計測角	: 岩相境界
: ベグマタイト脈	: 黒雲母密集部	: 湧水

総括監督員	主任監督員	監督員

請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体  
現場代理人



スライス断面図(スプリングライン)



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-396.79~-400.09m 69
		変質	1(非変質) (一部2(弱変質)を含む)	岩石試料番号	なし
岩相	中~粗粒花崗岩(淡桃~灰白色)	湧水	滲出 滴水	採水試料番号	なし
		電研式岩級	-396.79~-400.09m CH(A~B,III,1~2)		

特記事項

- 中~粗粒花崗岩(淡桃~灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。西側壁、鏡面にはベグマタイト脈(幅10~20cm)が認められる。ベグマタイト脈の周囲の所々に黒雲母が層状(幅0.5cm)に密集する。
- ハンマーでの打撃音は金属音~少し濁った音であり、岩盤は比較的硬である。変質は一部の割れ目周囲(J14, J15)に限られ、壁面全体では岩石は概ね新鮮である。岩盤等級は、すべての壁面で割れ目間隔が20~60cmのためOH級である。
- 主な割れ目として18条を抽出した。全体にNNE系の高角度割れ目が卓越する。割れ目の狭小物は主にカルサイトであり、一部に緑泥石(J5, J6, J14, J15)、粘土(J11, J12)を挟む部分も認められる。
- 西側壁・鏡面・東側壁天端部には、桃色カリ長石が認められない領域があり、その領域内の割れ目目扱いは橙色変質を伴っていない(J1, J9, J10等)。
- 湧水は、J1, J2で滴水がみられる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性はある。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から1.6m離れた場所より目視観察で実施した。



# B工区地質記載シート

番号:B3-請負-計測工(地質)- 00091

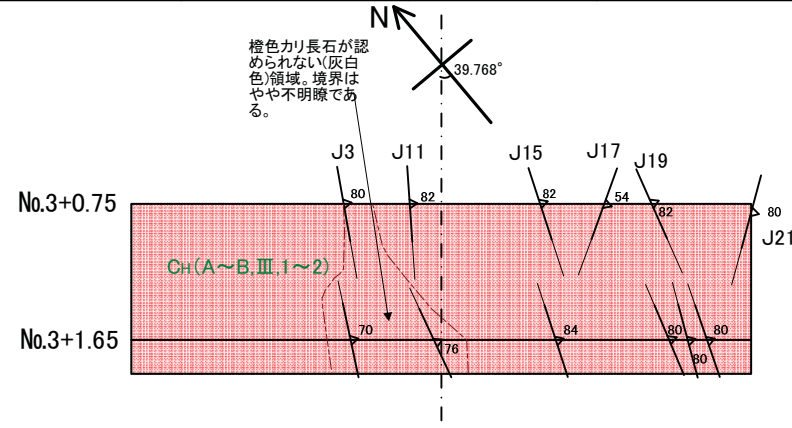
シート番号	209	日時	2009/9/8 3:50~5:20	位置・深度	400Y_ST4 G.L.-396.76~-400.04m No.3+1.65~No.3+0.75m	観察・撮影者	
-------	-----	----	-----------------------	-------	--	--------	--

凡例

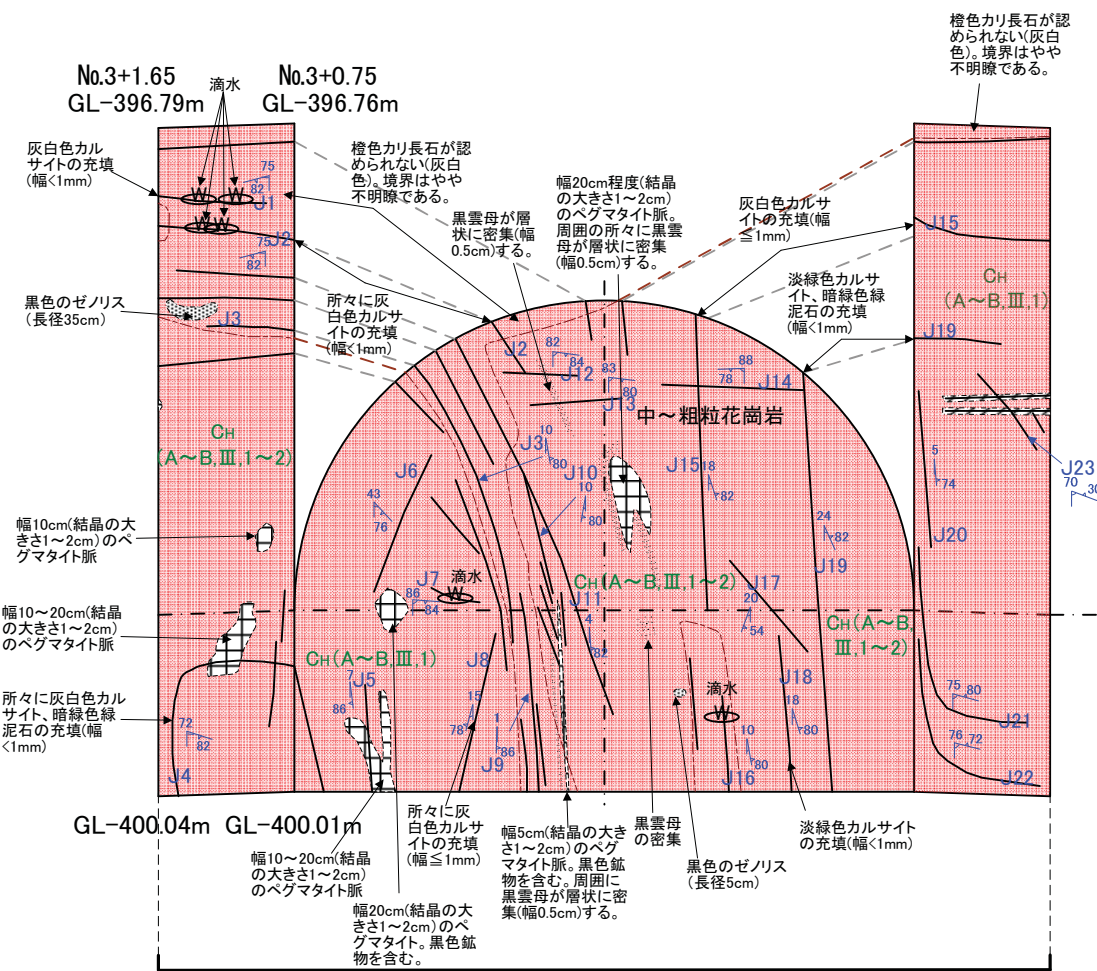
	:花崗岩		:変質部		:ゼノリス
	:割れ目		:割れ目の傾斜・計測角		:岩相境界
	:ペグマタイト脈		:黒雲母密集部		:湧水

総括監督員	主任監督員	監督員

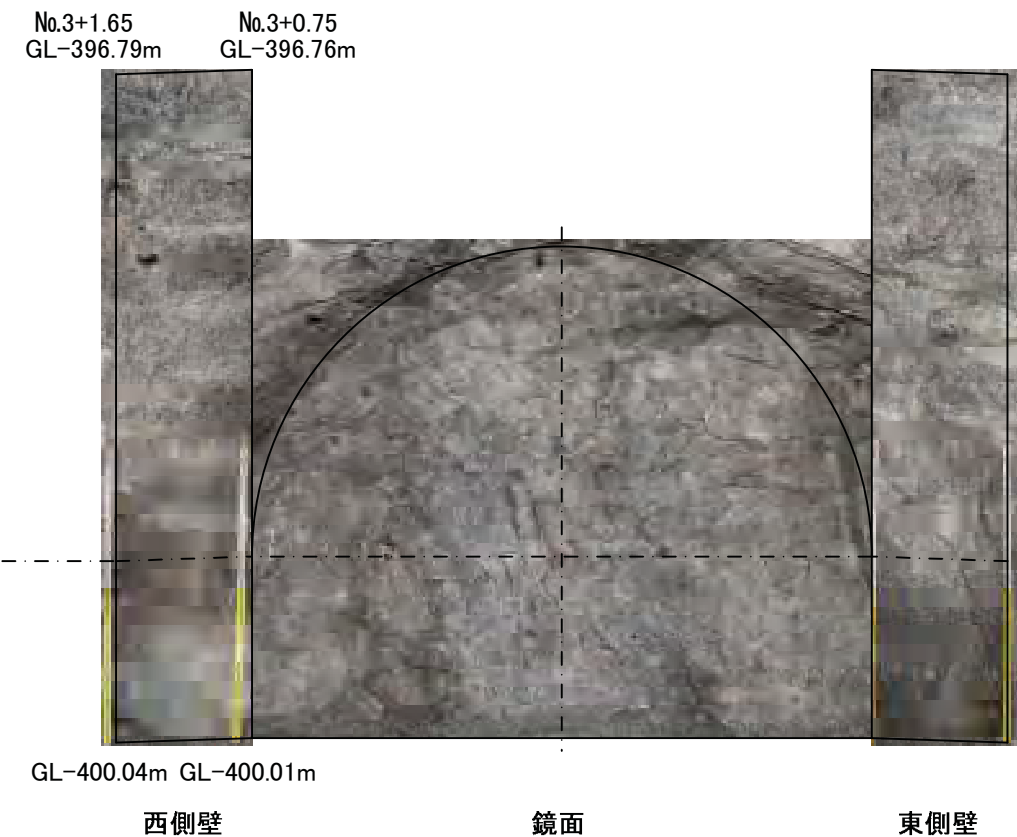
請負人 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体  
現場代理人



スライス断面図(スプリングライン)



西側壁 鏡面 スケッチ 東側壁



西側壁 鏡面 東側壁  
可視画像



岩種	花崗岩	風化	α(新鮮)	RMR値	-396.76~-400.04m 66
		変質	1(非変質) (一部2(弱変質)を含む)	岩石試料番号	なし
岩相	中〜粗粒花崗岩(淡桃〜灰白色)	湧水	滲出 滴水	採水試料番号	なし
		電研式岩級	-396.76~-400.04m CH(A~B,III,1~2)		

特記事項

- 中〜粗粒花崗岩(淡桃〜灰白色): 等粒状の黒雲母花崗岩。鉱物の粒径は石英が5mm前後でしばしば複数個が1cm程の集合体をなす。長石類は3~20mmである。黒雲母は1~10mmである。有色鉱物の割合は7~10%程度である。西側壁、鏡面にはペグマタイト脈(幅5~20cm)が認められる。ペグマタイト脈の周囲の所々に黒雲母が層状(幅0.5cm)に密集する。鏡面には黒雲母がペグマタイトとは伴わずに密集(幅0.5cm)する部分がある。
- ハンマーでの打撃音は金属音〜少し濁った音であり、岩盤は比較的堅硬である。変質は東側壁の一部の割れ目周囲に限られ、壁面全体では岩石は概ね新鮮である。岩盤等級は、すべての壁面で割れ目間隔が20~60cmのためOH級である。
- 主な割れ目として23条を抽出した。全体にNNE~NE系の高角度割れ目が卓越する。割れ目の狭小物は主にカルサイトであり、一部に緑泥石(J4, J19)を狭小する。
- 西側壁・鏡面・東側壁天端部には、桃色カリ長石が認められない領域があり、その領域内の割れ目沿いは橙色変質を伴っていない(J3, J9等)。
- 湧水は、J1, J2, J7, J16で滴水がみられる。その他の壁面でも滲出程度の湧水が存在する可能性がある。
- 当箇所は予備ステージ横坑であり、進行する方向はおよそN40°Eである。
- 壁面観察は鏡面から0.9m離れた場所より目視観察で実施した。